メイメイ

令和3年12月

一人一人が感じた「一年」

まもなく二〇二一年が終わり、新しい年が訪れようとしています。そこで、島民の方々にインタビューを行い、今年を振り返っての想いを伺いました。

① 今年の想いを漢字一文字で表すと、どうなりますか？
② その漢字を選んだ理由を教えてください。
③ 来年はどんな年になってほしいですか？

阪元　悟さん

① 「良」
② すべてが良かったから。
③ 良い一年になってほしい。

牧口　優花さん

① 「晴」
② 晴れの日が多くて、気分も晴れていたから。
③ コロナであまり交流ができなかったので、他の人との交流を増やしたい。

田川　賢大さん

① 「楽」
② のんびり趣味を楽しめたから。
③ 仕事を頑張る一年にしたい。

本名　一竹さん

① 「佳」
② 竹佳ちゃんとよく遊んだから。
③ 過ごしやすい年になってほしい。

四本　忠夫さん

① 「健」
② 今年一年健康に過ごせたから。
③ いつ何が起こるかわからないから、来年も全然わからない。

平田　明花さん

① 「生」
② 二人目を出産したから。
③ コロナを気にせず出かけたい。

廣瀬　純二さん

① 「港」
② 青年団長となって、港での仕事が多かったから。
③ 五十歳を迎えるので、健康な一年にしたい。

前田　功一さん

① 「辛」
② 我慢することが多く、やりたいことができなかったから。
③ コロナがなくなって、自由な年になってほしい。

小川　雄貴さん

① 「楽」
② 海や畑に行けて楽しく、東京ではできないことができたから。
③ 楽しい一年になってほしい。

コロナ禍で迎えた一年ですが、その中で感じたことを語ってくださいました。読者の皆様は、今年一年どのような年だったでしょうか。インタビューを受けてくださった皆さん、ありがとうございました。新しい年が皆さんにとってよい年になりますように。

たくさんの素敵な贈り物

十二月四日（土）に子ども会のクリスマス会が行われました。

ツリーの飾り付けを終えた後、今年は空き瓶を使用したスノードーム作りをしました。飾りの置き方を工夫しながらオリジナルのスノードームを完成させました。また、大人の方々がハンドベルでクリスマスソングを演奏してくださり、体育館にすてきな音色が響きわたり、わくわくした気持ちになりました。

最後にサンタさんとトナカイさんが登場してプレゼントをくださいました。さらに、草場さんからもお菓子のプレゼントなどをいただきました。最後まで笑顔いっぱいの時間になりました。

宝島にようこそ！

今回は、十一月に山海留学生として宝島にやってきてくれた眞嶋友梨佳さんを紹介します。

友梨佳さんは、「宝島に山海留学が決まったときは、不安な気持ちもあったけど、釣りなどに挑戦してみたいと思っていたので楽しみもあった。」と話してくれました。

また、みんなと話すことが好きで、トカラブルーについての話を聞き、「実際に見てみたい。」とも話してくれました。一緒に島でたくさんのことを学び、たくさんの思い出を作っていきましょう。

繋げ！みんなの想い

十二月十二日（日）、島内一周駅伝大会が行われました。

児童生徒、先生方、島民の方々など、計五チームに分かれ、タスキを繋ぎました。

周りからの応援の声を受け、みんな全力で走りました。今年は宝島東チームが一位でした。惜しくも児童生徒チームは入賞できませんでしたが、日々の体力作りの成果を発揮することができました。これからも日々の体力作りに励み、みんなで頑張っていきます！

ひとこと：もうすぐ冬休みですね。休みの日でも早寝早起きをして健康的に過ごしましょう。　松下真奈

『こん立て表とにらめっこ』

「心に残る給食の思い出」作文コンクール 農林水産大臣賞　受賞作文

「明日は、大好物の焼きそばだ。」給食のこん立て表を見てよろこんでいるぼくのとなりで、母がプリントとにらめっこしながら、不安そうな顔をしている。

「どうしたの。」

と声をかけると、母は、

「明日が初めての給食のお仕事なの。」

と言った。

四月から、ぼくのいる宝島小中学校の給食調理員として働くことになった母。毎日、ぼくたち家族のごはんを作ってくれているので給食を作ることはかんたんだと思っていた。しかし、給食調理員として働くことは、僕が思っている以上に大変なことだった。

まず、清潔第一で、細菌やウイルスが入らないように、月に二回の検体検査をしていること。そして、もし作ったことのない料理だったら、調べているそうだ。その日のこん立てのうち、どの料理を担当するかは、当日にならないと分からないそうなので、前日はきんちょうする、と母から聞いた。

母が、初めて給食を作る日がやってきた。ぼくは先生に、

「今日は、お母さんが初めて給食を作る日なので、いつもよりも多くふやしてください。」

と言うと、先生は、特に大好きな焼きそばを大もりにしてくれた。

家でも、焼きそばは食べたことがある。でも、いつもよりもその日の給食はおいしく感じた。

家に帰って、母に

「今日の給食はどれもおいしかったけれど、特に焼きそばがおいしかったよ。」

と言うと、母はうれしそうににっこり笑って

「そう。良かった。焼きそば担当はお母さんだったんだよ。」

と言った。

前日の、あのきんちょうした母の顔とは全然ちがい、とても安心したようなうれしそうな顔になっていた。ぼくも、うれしくなって、その日の夕食もたくさん食べた。

母が給食調理員として働く日は、毎週金曜日だ。やっぱり前日には、こん立て表とにらめっこしている。でも、母の顔は以前より少し自信があるように感じた。ぼくは、

「今日もきんちょうするの？。」

と母に聞くと、母は、

「きんちょうはするけれど、大樹においしいと言ってもらえるからがんばる。」

と言った。

それから月日がたった。今日は、母が給食調理員として働く最後の日だ。児童生徒がお礼のメッセージを書いた。このメッセージカードを渡すのは、給食委員長であるぼくの役目だ。母に渡すのは少し照れくさかったけれど、これまでの感謝の気持ちを伝えることができた。最後のこん立ては、スパゲティーだった。焼きそばとスパゲティーはぼくと母にとって忘れられない給食になった。

第八回「心に残る給食の思い出」作文コンクールで小学五年の松元大樹さんが、全国一位にあたる農林水産大臣賞を受賞しました。

大樹さんのお母さんが、給食調理員として働いていたことがきっかけで書いたというこの作文。農林水産大臣賞と聞いたとき、大樹さんは、「想像がつかないくらいびっくりした。」と話してくれました。

また、母親である理代子さんは、この作文を読んで、「あまり口では感謝の気持ちを聞くことができないので、作文を通して聞くことができてよかった。」と話してくれました。

父親の健治さんは、「最初に聞いたときは、本当にびっくりした。この賞をいただけるのは、宝島に来たからこそなので、宝島に来てよかった。」と話してくれました。

受賞、本当におめでとうございます。

日々の成長 ～日記の紹介～

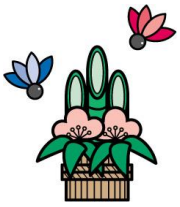
口之島小との合同テレビ会議授業

小学５年　田中光結

今日は、五時間目に国語で口之島小学校と文化祭の発表をしました。私は、他の小学校と文化祭を見合うのは、初めてだったけれど、楽しかったです。口之島の小学校の文化祭を見て一番心に残ったのは、小学生の全員での発表でした。漢字の問題を工夫しておもしろく出していました。一番すごいなと思ったところは、考えている間になわとびやマジックをしていたところです。私も来年は口之島小学校の良かったところをまねしたいです。

1月の行事予定

１１(火) 始業式
１２(水) 受験生の集い
１４(金) 漢字検定
１５(土) トカラ集会（宝島）
１８(火) 鹿児島県学習定着度調査（～１９）
２１(金) 席書会
２２(土) 英語検定



クイズコーナー

新しく宝島小中学校に中学１年の眞嶋友梨佳さんが加わりました。さて，児童・生徒の人数は何人になったでしょうか。

①　２５人
②　２３人
③　２４人

先月の答え　　①　主

ひとこと：１２月に入り，気温がグッと下がってきました。上着を着るなどして体調管理に気を付けていきましょう。　尾家文都